

船舶事故調査報告書

平成30年7月4日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 佐藤 雄二（部会長）
 委員 田村 兼吉
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成29年5月22日 07時03分ごろ以降の午前中～24日 09時30分ごろの間）
発生場所	不明（青森県今別町一本木漁港 ^{いっぽんぎ} ～汐首岬灯台 ^{しおくび} から真方位305°1,370m付近の北海道函館市汐首町の海岸の間）
事故の概要	プレジャーボートクイーンエリザベスは、一本木漁港を出港後、船長が行方不明となった。 クイーンエリザベスは、船外機に濡損を生じた。
事故調査の経過	平成29年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で行方不明になったため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート クイーンエリザベス、総トン数なし なし、個人所有 3.32m×1.48m×0.57m、FRP ガソリン機関、11kW、平成25年11月 第212-15488号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 44歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成25年10月29日 免許証交付日 平成25年10月29日 (平成30年10月28日まで有効)
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れまたは曇り、風速 無風～約4.6m/s 海象：波高 約0.8～1.9m、水温 約12～14℃
事故の経過	本船は、平成29年5月22日07時03分ごろ以降の午前中に、船長が1人で乗り組み、一本木漁港を出港した。 本船は、24日09時30分ごろ、‘汐首岬灯台から真方位305°1,370m付近の海岸’（以下「本件海岸」という。）に、転覆した状態で乗り揚げているところを通行人が発見し、通行人から連絡

	<p>を受けた漁業協同組合担当者が警察及び海上保安庁に通報した。</p> <p>船長は、落水したものとして海上保安庁の巡視船及び航空機により捜索が行われたが、発見されず、行方不明となった。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
その他の事項	<p>船長は、約4年前から、釣りの目的で本船を使用していた。</p> <p>船長は、22日07時03分ごろ、青森市内のコンビニエンスストアの前の道路を、本船を積載した自動車で、自動車で約1時間の距離の一本木漁港方向に向かったのが確認された。</p> <p>漁業者が、22日朝から一本木漁港内に駐車している、船長所有の自動車を見かけていた。</p> <p>本船は、発見されたとき、他船と衝突したような痕跡がなく、本船に設置された生け簀及び本船と一緒に発見されたクーラーボックスに、魚が入っていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、行方不明となった。</p> <p>本船は、5月22日07時03分ごろ以降の午前中に一本木漁港を出港後、24日09時30分ごろ本件海岸に転覆した状態で乗り揚げているところを発見されたことから、この間において、本船が転覆して船長が落水したか、もしくは船長が落水した後に本船が転覆して、船長が行方不明となった可能性があると考えられるが、行方不明となった状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長の救命胴衣の着用状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、一本木漁港を出港後、船長が落水したことにより、発生した可能性があると考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型船舶の乗船者は、救命胴衣を着用すること。 ・ 緊急時の連絡手段を確保するため、防水型の携帯電話又は防水パックに入れた携帯電話を身に付けておくことが望ましい。

付図1 事故発生場所概略図

